



79
625
1





珍  
625  
10



茶之湯指南抄序

獨倚南牕筆<sup>フデ</sup>と<sup>ト</sup>及<sup>レ</sup>ハ自然<sup>シ</sup>と<sup>モ</sup>其<sup>ノ</sup>此<sup>ノ</sup>實<sup>ヲ</sup>

々<sup>モト</sup>求<sup>ヒ</sup>予<sup>ヨ</sup>お<sup>ク</sup>梓<sup>ハ</sup>り<sup>ク</sup>也<sup>ハ</sup>身<sup>ヲ</sup>兼<sup>テ</sup>筆<sup>ヲ</sup>送<sup>ル</sup>也<sup>ト</sup>

古<sup>コ</sup>人<sup>ジン</sup>此<sup>ニ</sup>善<sup>シ</sup>言<sup>ハ</sup>と<sup>モ</sup>其<sup>ノ</sup>極<sup>ク</sup>意<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>教<sup>ヘ</sup>と<sup>モ</sup>其<sup>ノ</sup>

我<sup>ワ</sup>獨<sup>レ</sup>法<sup>ヲ</sup>め<sup>ク</sup>ハ<sup>シ</sup>此<sup>ノ</sup>世<sup>ニ</sup>凡<sup>ソ</sup>俗<sup>ノ</sup>よ<sup>シ</sup>カ<sup>ナ</sup>ハ<sup>ス</sup>キ<sup>マ</sup>ウ<sup>タ</sup>メ<sup>ス</sup>モ<sup>ノ</sup>ニ

能<sup>ヨク</sup>世<sup>ヲ</sup>と<sup>テ</sup>推<sup>シ</sup>極<sup>ム</sup>心<sup>ヲ</sup>め<sup>ク</sup>密<sup>ニ</sup>勝<sup>ト</sup>と<sup>シ</sup>自<sup>ラ</sup>的<sup>ニ</sup>洒<sup>シ</sup>怡<sup>シ</sup>顔<sup>ヲ</sup>

茶湯

序



ひびあるの事イクトレツキを月々のことと云へたるはヨチヨチニおま

世ヨに酒法テウホウとの事キナルコトとかんば茶湯指南チャウユシヤンと云ふ

く茶道チャトウの廣カウあると云ふ事コトと云ふはヨチヨチニ智チ

好コウくジニ末コノスヘを補ヨキヒふべしコレと云ふ事コトはヨ也

後考の元因序

茶湯指南抄巻一 目録

大ゆオホユ此習ナレヒ曰イハレケ茶

大ゆオホユく三方サウホウ茶チヤ此番

廣ヒロ直ナホ茶チヤ大福オホフク此番ナレヒ茶チヤ點テン付ツケ大ゆオホユくテカ

鎖クサ線セン小体コタテ茶チヤ此番ナレヒ茶チヤもモあ

自在ジザイ煎ケン極キョク極キョク茶チヤ此番ナレヒ茶チヤもモあ

空カラ切キリ茶チヤ此番ナレヒ茶チヤもモあ

空カラ切キリ茶チヤ此番ナレヒ茶チヤもモあ

逆勝ギャクショウ茶チヤ小体コタテ茶チヤ此番ナレヒ茶チヤもモあ

逆勝ギャクショウ茶チヤ小体コタテ茶チヤ此番ナレヒ茶チヤもモあ



一 運送の儀は茶の庄茶のあ  
 二 運送の儀は茶の庄茶のあ  
 三 運送の儀は茶の庄茶のあ  
 四 運送の儀は茶の庄茶のあ  
 五 運送の儀は茶の庄茶のあ

茶湯指南抄巻二上

大母の世習

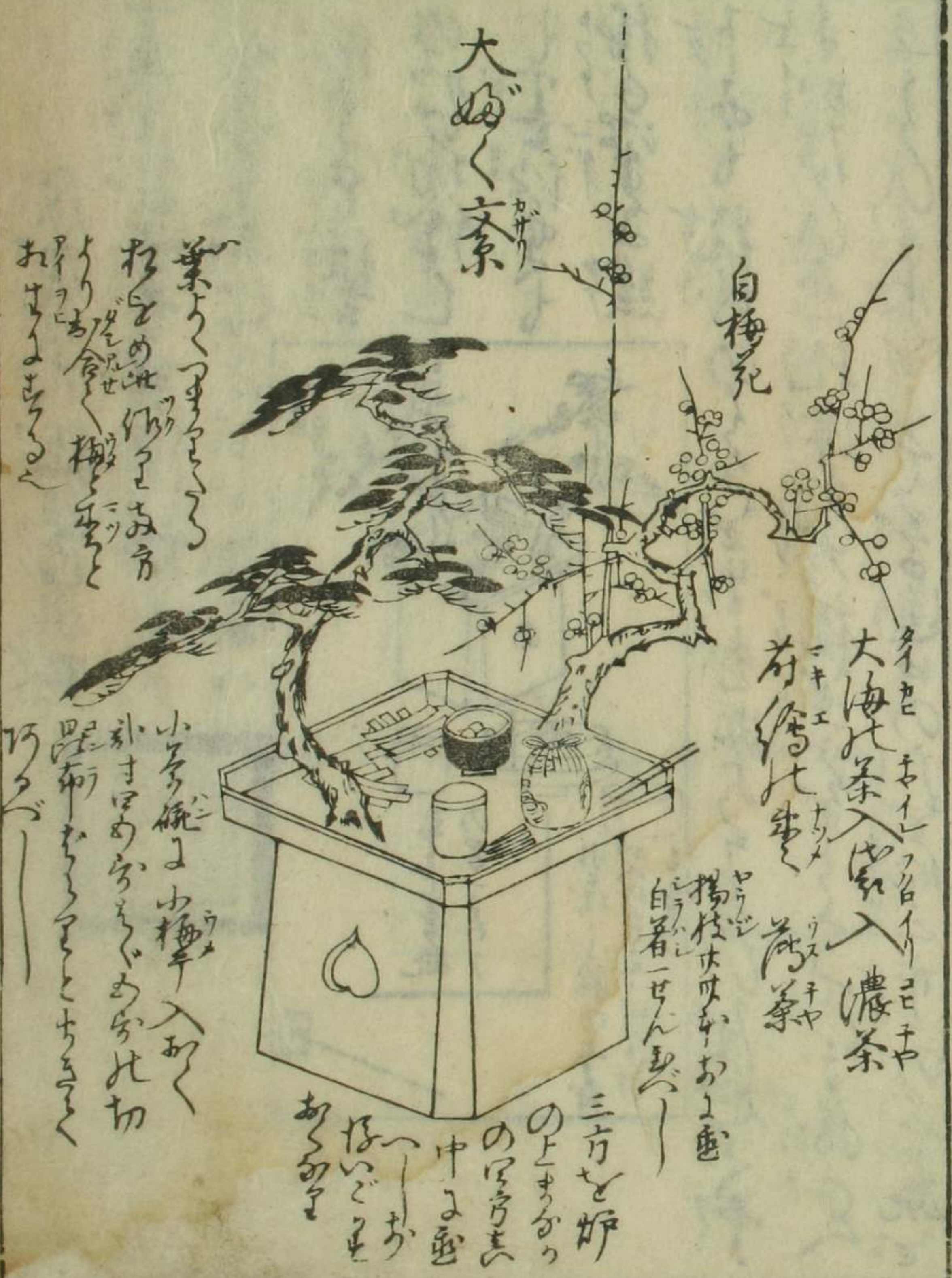
一 新茶は元日卯の先貴方に向き再行し次は大母の  
 二 洗ひ着の儀は先室の儀に似せしむ其の儀は由の初ぬ衣服を  
 三 洗ひ着の儀は先室の儀に似せしむ其の儀は由の初ぬ衣服を  
 四 洗ひ着の儀は先室の儀に似せしむ其の儀は由の初ぬ衣服を  
 五 洗ひ着の儀は先室の儀に似せしむ其の儀は由の初ぬ衣服を



茶ハ別後たるべし又極を措くも極を流ひむしなる  
 べし是も其母信べし任濃梅は梅ぼをさる花入る一家の  
 面々めしとるべし

一箱目ゆりてうりめを別して念比ある人をめめを  
 拾人ゆりてよりべし一昼ゆくも夜ゆくも子孫の世傳も  
 二子の文事ゆりてゆゆく知べし濃茶ハ初じりり流自大白  
 をて一煎之流茶ハ初後たるべし

一三つりし松梅二色をおしめりしととて打針し奉言を設  
 小なべし小茶碗よ小梅干と餅を於入壺に流茶ハ信入大海り丸  
 壺古流茶ハ小茶碗の流茶ハ信入壺



大梅く茶系

白梅花

大海茶入壺

前流茶

揚枝木吹かおし壺  
 白著二日ん其へ

三方を炉  
 の上まかり  
 の口方ま  
 中よ壺  
 へいお  
 好いごま  
 おく

葉よりつるまきし  
 ねをめしゆりてお  
 くりお合し梅を  
 おけりよまきし

小茶碗よ小梅干入壺  
 餅を於めりてお  
 堅布をさるしとちり



廣徳大福茶點

廣徳大福茶點の茶碗は半切の物なり  
之を文素たるべし  
何れも文素たるべし



下も流儀のしるしとせしむるなり  
立りぐいし水として茶通口の戸を  
カッテ深きとせしむるなり  
も雲を以てせしむるなり  
のかけ物繪し  
何れも文素たるべし  
廣徳大福茶點の茶碗は半切の物なり  
之を文素たるべし  
何れも文素たるべし

あひめく指し如ふ杯のしるし  
何れも文素たるべし  
水點を以てせしむるなり  
とせしむるなり  
おと茶碗の形なり  
何れも文素たるべし



相まのりいひやく  
水こぼし膳の上蓋の形を以てあり  
おと茶碗の形なり  
何れも文素たるべし  
廣徳大福茶點の茶碗は半切の物なり  
之を文素たるべし  
何れも文素たるべし



（元蓋を武の拂いたせしむ此方へ）

（一）胴とぐるまをゆいさうに

外は方と曲尺

よんでしめ此及

こころよ垂べ

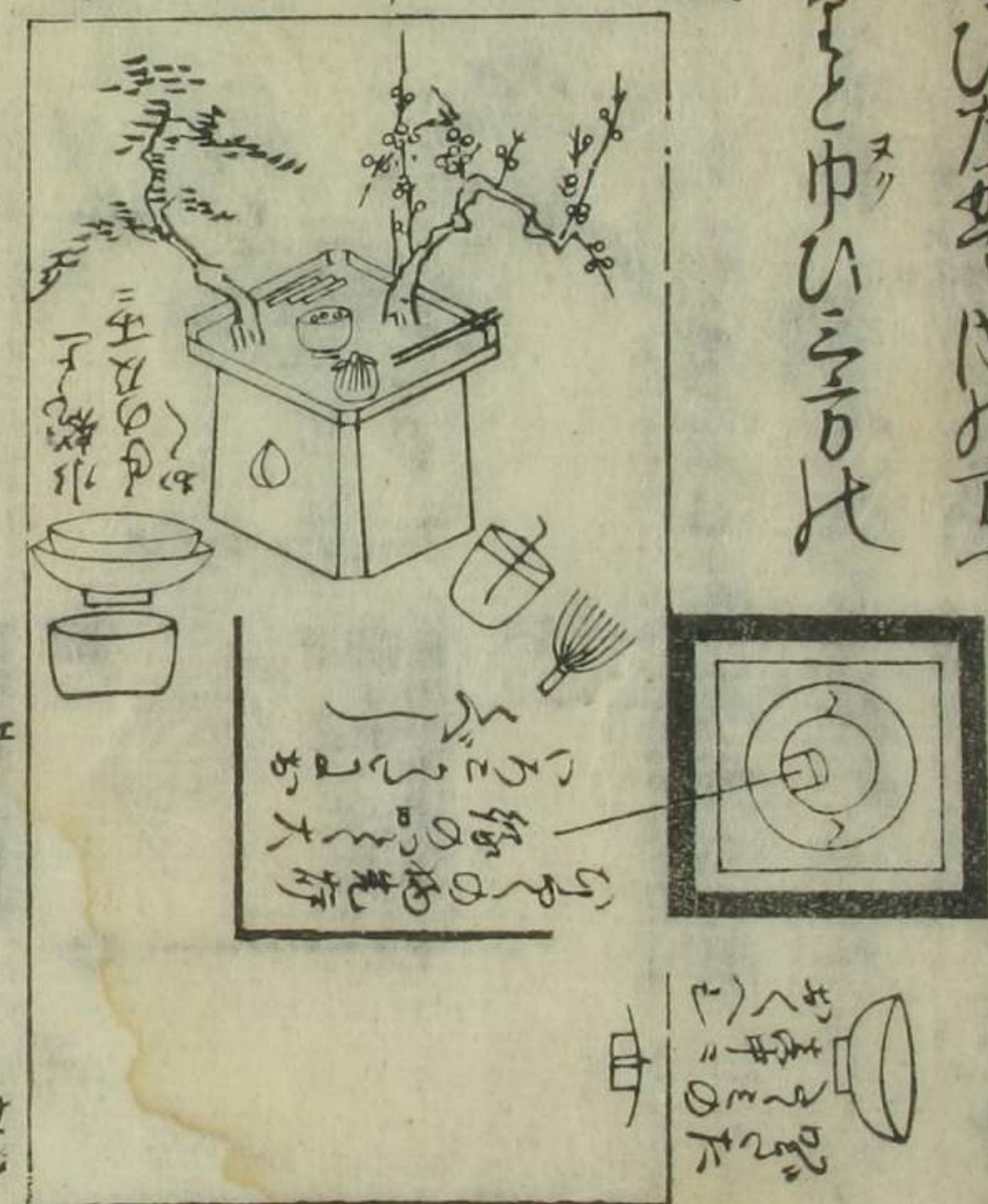
帛を拂ひおろす

右ゆき茶杓

取あとのけゆい向へつらきおし右ゆき物さきと取きよむ

多移のいふれおろすのけは中よしと垂べ物先ハ膝

り向の極よ垂べ右ゆき茶杓取あはれく帯と炸



筋違よん通茶杓此方の

いろりたるおめく帯の肩す

五歩だけ垂べ帛ハ膝よを

さきこころよの

茶碗と上おろす

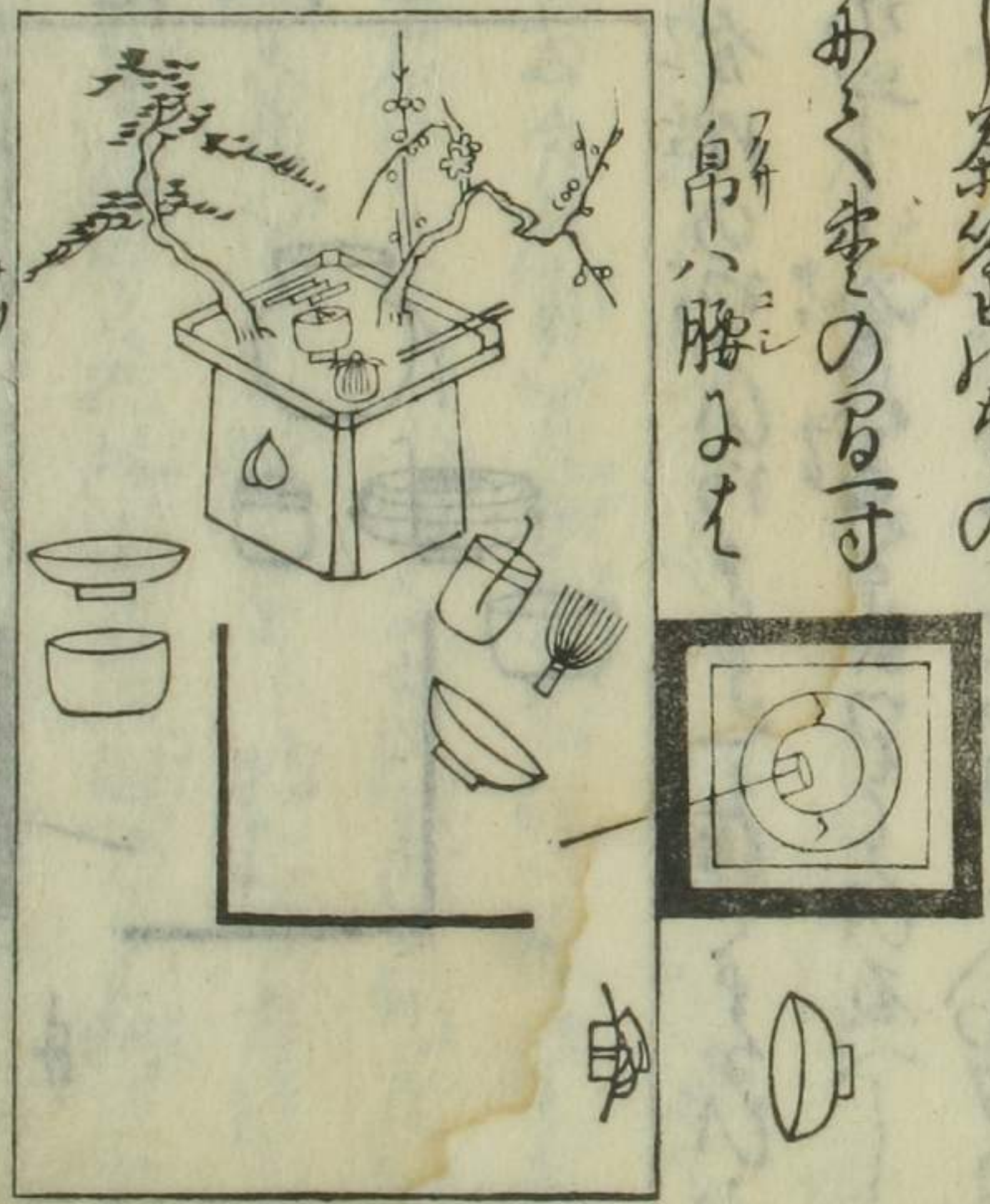
とあゆみゆこれ

水籠の上よ垂

トきの茶碗をろくよ垂おろし右ゆきひきと取たへ

條ゆわ物おくはよあしひりやと利体流ハ物杓此がむか

とよむる極よ持又遠州流ハがむかを身あると持はたい





このを視口傳目には半三三六

分ちあつては指べし一平半切丸

指をさしは指板

のがや鏡よえ

おべし指の流

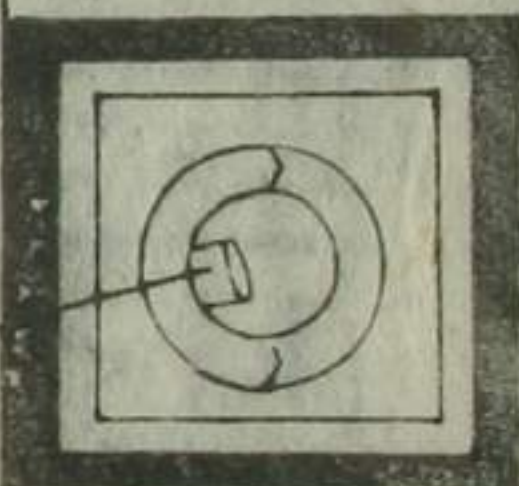
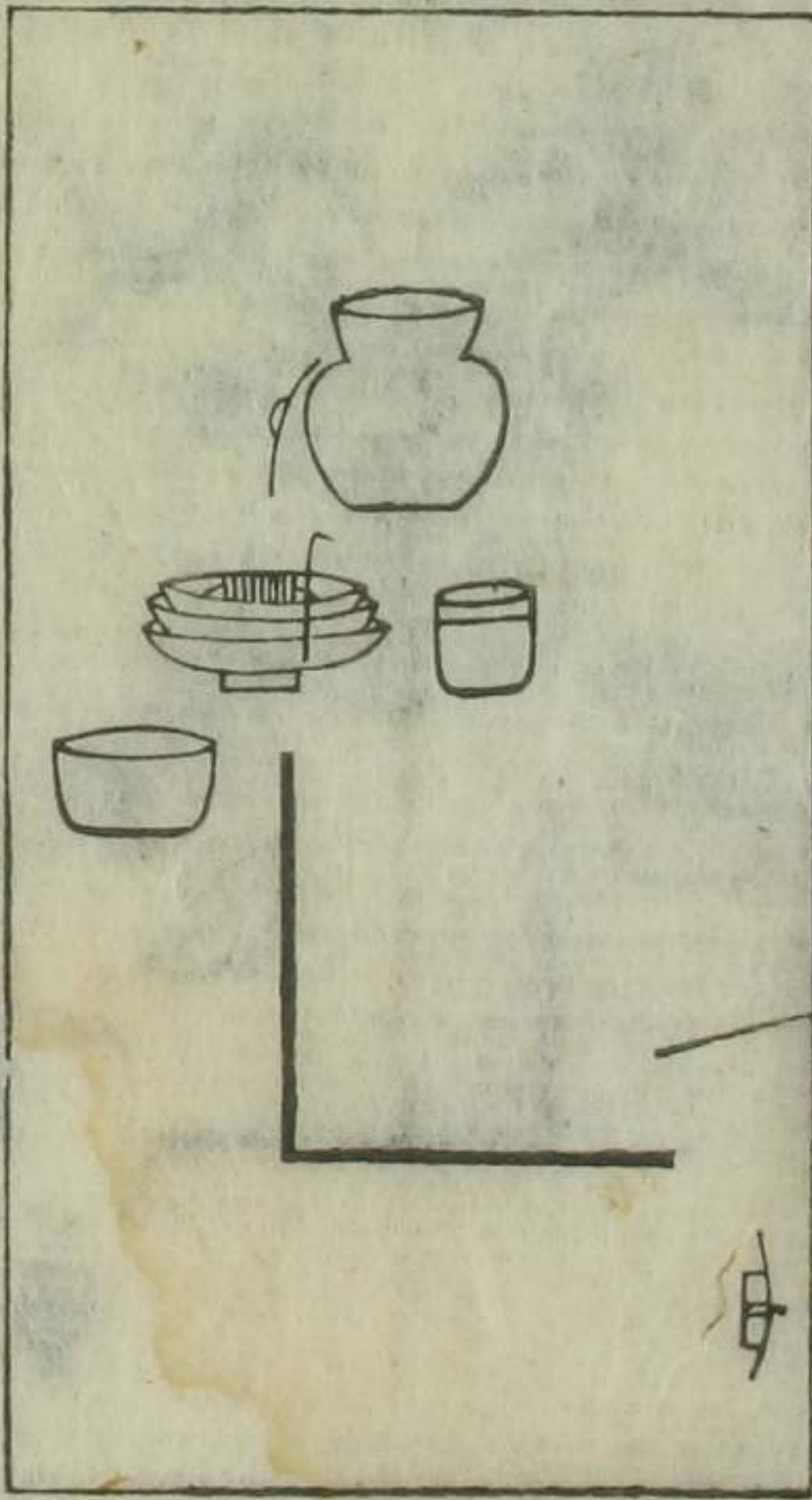
と何とこと

かぶさし心と

物事ふに一分位のつひの事一層くまびむへ

指あつて指とれど一全此蓋をさしひ返べし指板

よととと指とことよ一だひくも茶碗に入物抄のさしけ



右れはゆく茶碗を茶碗に入湯次三つして角けく

あけおしははさしとんはなはやくさしひれ中よはる茶中

取ぬきはさしあひゆく四つよささき水割のとめてさげり

お(指ち)ゆくあ方角と指遠先さし指板はさしはさし

さしたのまこと右はさしさしさる方角とれたをさし

角とれしつへ又たと右とさし指さる方れを右

トへさしげしと右を指板よして向へるさしさして返

しさるへ又角と右めく指板をさし下はさしささりた

親指よりけさしは指板先ゆく又さしはさしはさしは

又さし遠指右はさしはさしはさし茶碗をあげたゆく



湯をさくるる茶巾持たる右は右の膝は茶碗の志  
どくを能くさぐささくおへ取中ゆく茶巾をさく入る  
ほだき茶碗の口へつけ外れ方へおへ取つよけ右めく茶  
巾此と持つ三つちやせんまはつ茶巾中へ入口と巾の志  
茶碗の大小ゆく二つの巾ひ極る大ある茶碗は二つ  
巾の中ゆく茶碗は数少ある茶碗は二つ巾ひをく入る  
トよ垂世毎もさくさくさくさくさくさくさくさくさく  
どよ垂べー右ゆく茶巾取たるしゆを指右めくさくさ  
きお指ー右めく角ゆき指したしゆを指しゆお指り  
くけつりよけおを右めく茶巾蓋此とよ垂つまおさくさ

おくべー右めく茶碗取たるしゆを指右めくさくさ  
たゆく茶と取指極るしゆを指しゆお指り  
へけ指らるめく茶巾蓋と別蓋よ取おる垂べー茶巾  
と茶巾一能くさくさくさくさくさくさくさくさくさく  
茶の入れ極る取ありさくさくさくさくさくさくさく  
向へお指ー向よりさくさくさくさくさくさくさくさく  
らひさくさく茶巾取たるしゆを指しゆお指り  
さくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく  
茶巾向極るお指り此と茶巾中よおくべーお指り  
と右めく茶巾を能くさくさくさくさくさくさくさくさく



茶碗を飯たれよと茶碗縁は指さしつくとぬるべし茶碗ハ  
わたり飯し右めくさうりつる箸とれ梅干とをのめく點  
たくと茶碗の中へ入揚枝よをぬる茶碗縁は指さしつと  
ぬるせしるるが茶碗中へ水籠のうとぬる茶碗とをのめ  
つと茶碗の中へ入揚枝よをぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
右めくさうりつと湯茶中へぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
こまわしつとぬる茶碗中へぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
茶碗蓋よぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつと  
てぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる

揚枝飯茶碗茶碗蓋よぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
湯と入茶碗縁とぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
茶碗縁と茶碗蓋よぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
ぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
ぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
ぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
ぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
ぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
ぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる  
ぬる茶碗縁は指さしつとぬる茶碗縁は指さしつとぬる









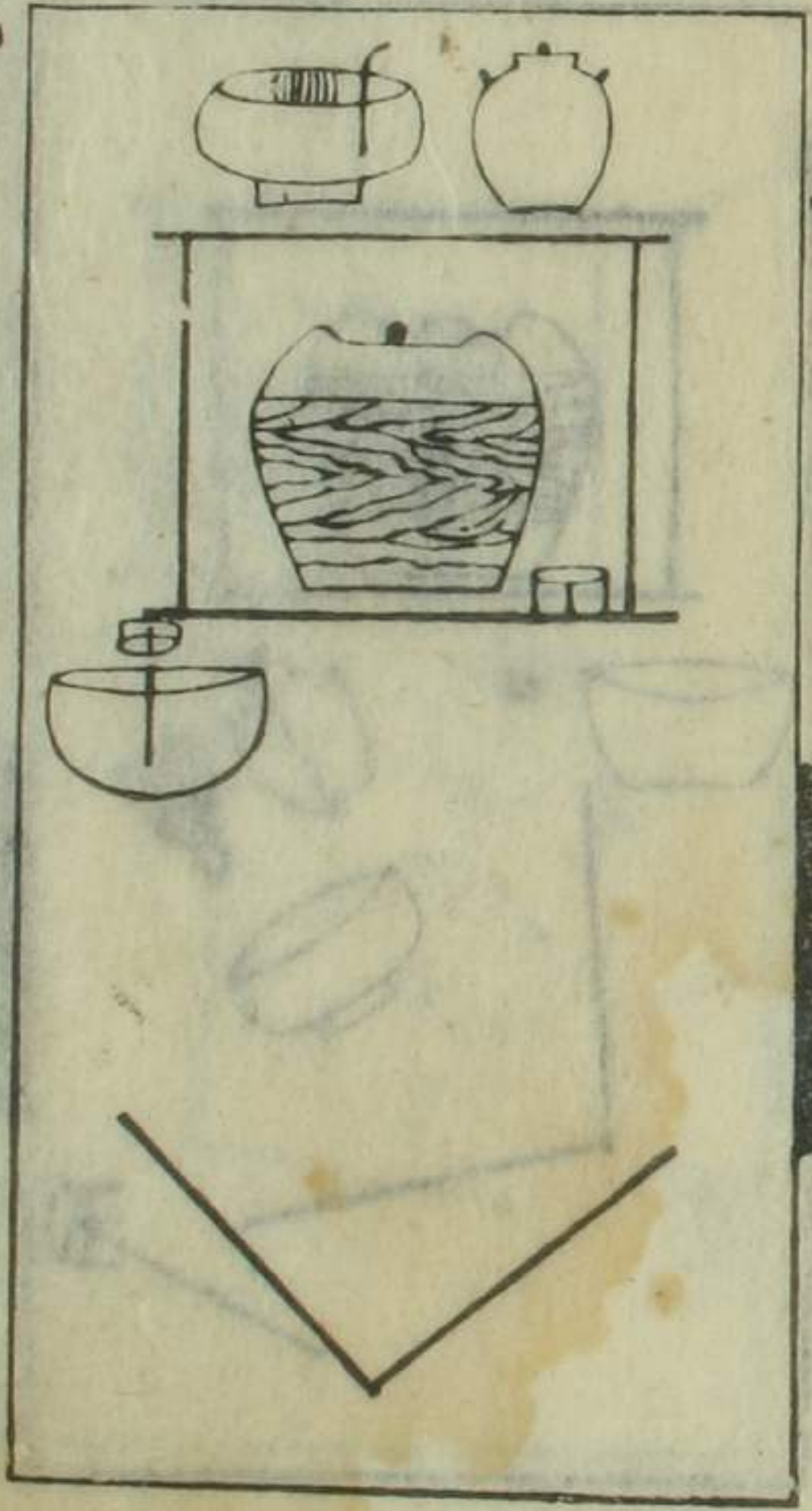


一 水筒ハ茶をきん包（きん）此種物茶入（茶入）大海（大海）の如く此茶入（茶入）は古  
 新（新）ハかくへの空（空）居（居）此種物（此種物）を今（今）一（一）點（點）極（極）常（常）に於る  
 中（中）の一流（一流）傳（傳）茶（茶）より（より）も（も）も人（人）の好（好）む所（所）也（也）  
 一 水筒ハ茶をきん包（きん）此種物茶入（茶入）大海（大海）の如く此茶入（茶入）は古  
 新（新）ハかくへの空（空）居（居）此種物（此種物）を今（今）一（一）點（點）極（極）常（常）に於る  
 中（中）の一流（一流）傳（傳）茶（茶）より（より）も（も）も人（人）の好（好）む所（所）也（也）

一 水筒ハ茶をきん包（きん）此種物茶入（茶入）大海（大海）の如く此茶入（茶入）は古  
 新（新）ハかくへの空（空）居（居）此種物（此種物）を今（今）一（一）點（點）極（極）常（常）に於る  
 中（中）の一流（一流）傳（傳）茶（茶）より（より）も（も）も人（人）の好（好）む所（所）也（也）

鎖鑰小休（鎖鑰小休）

一 少（少）許（許）茶（茶）煎（煎）と（と）茶（茶）此（此）中（中）有（有）煎  
 上（上）り其（其）付（付）此（此）茶（茶）入（入）ひ（ひ）く（く）茶（茶）碗（碗）  
 ぞ（ぞ）が（が）ん（ん）だ（だ）さ  
 煎（煎）ら（ら）る（る）此（此）也（也）  
 茶（茶）を（を）煎（煎）入（入）茶（茶）井（井）  
 煎（煎）ら（ら）め（め）く（く）た（た）ま（ま）  
 煎（煎）せ（せ）又（又）下（下）れ（れ）く（く）ぞ（ぞ）



煎（煎）ら（ら）め（め）く（く）た（た）ま（ま）煎（煎）せ（せ）又（又）下（下）れ（れ）く（く）ぞ（ぞ）  
 煎（煎）ら（ら）め（め）く（く）た（た）ま（ま）煎（煎）せ（せ）又（又）下（下）れ（れ）く（く）ぞ（ぞ）  
 煎（煎）ら（ら）め（め）く（く）た（た）ま（ま）煎（煎）せ（せ）又（又）下（下）れ（れ）く（く）ぞ（ぞ）



遊野所を暖たれよ水糸  
しを指かぬれよよおきこ作れ

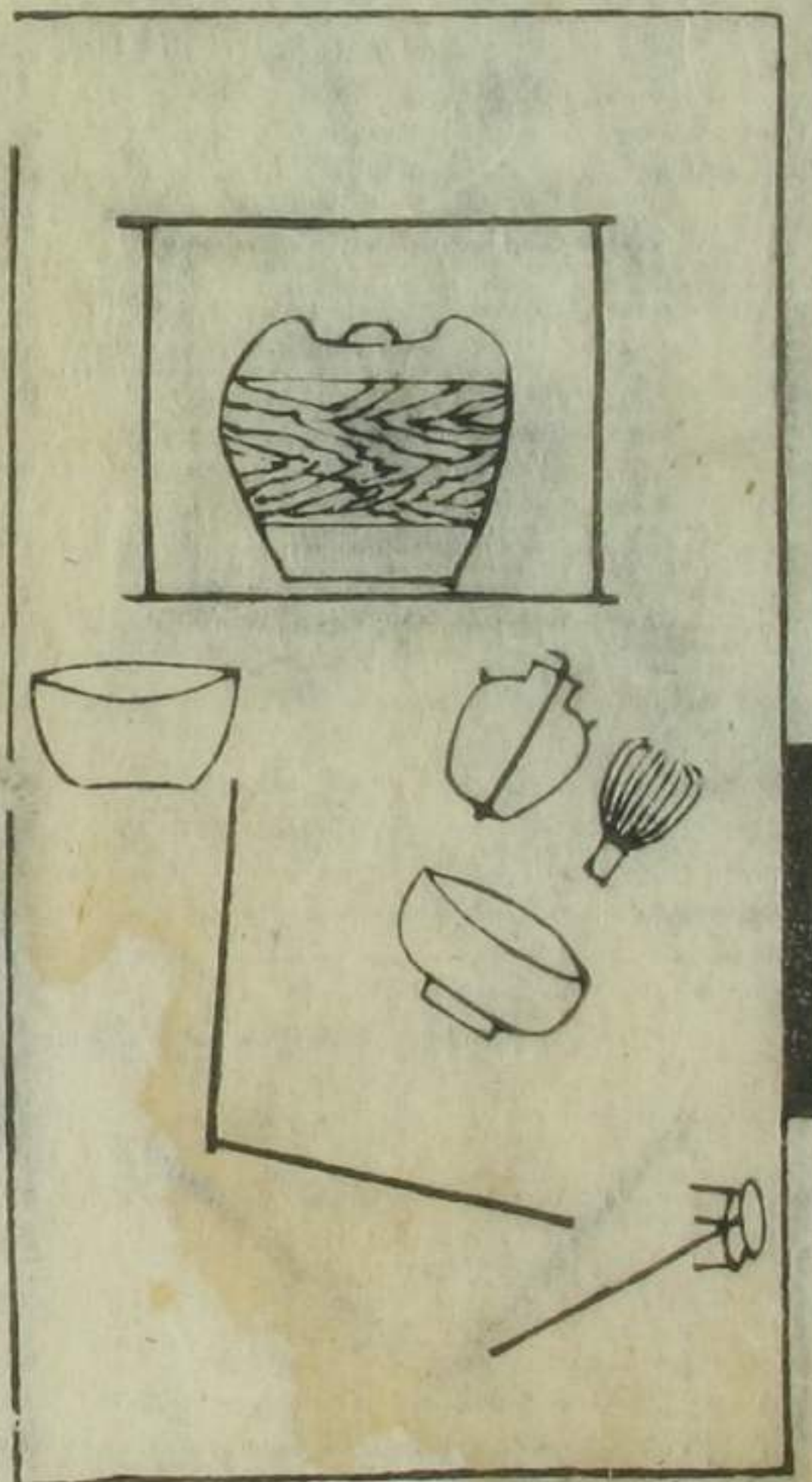
方へ折向いた

れよじかざれ

厨とよれぬ

よ紫ひらと

たれ櫛よつけ



終かこら右れよし中さこさぎ  
よる極よのささこつべ  
したれよとたの饒よ  
茶は口を折綴ふ  
右れよと在れよんの中へ  
由らと折し右れ

よと川たとりべ  
向の茶入茶碗留  
其中と新とおれ

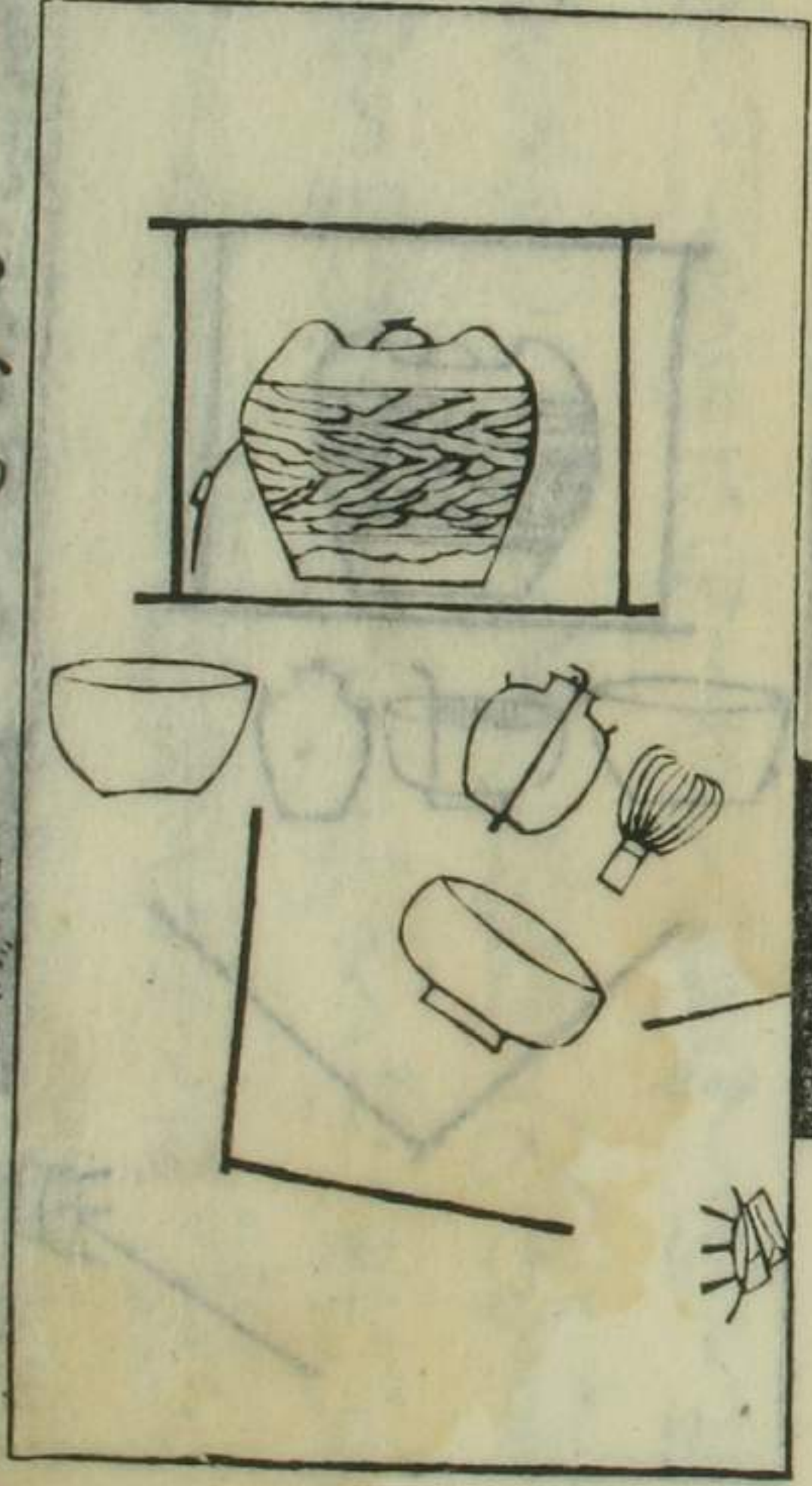
く物入れお

した極存し

蓋垂れ茶

おくれゆと茶

えん丸在る屋



典かおきと帛儀紙  
茶入れ中  
茶少体茶此極と茶入れ中  
ゆけるもよとつれおし  
蓋はからこちある



茶碗の向いなる

蓋のあやのわける

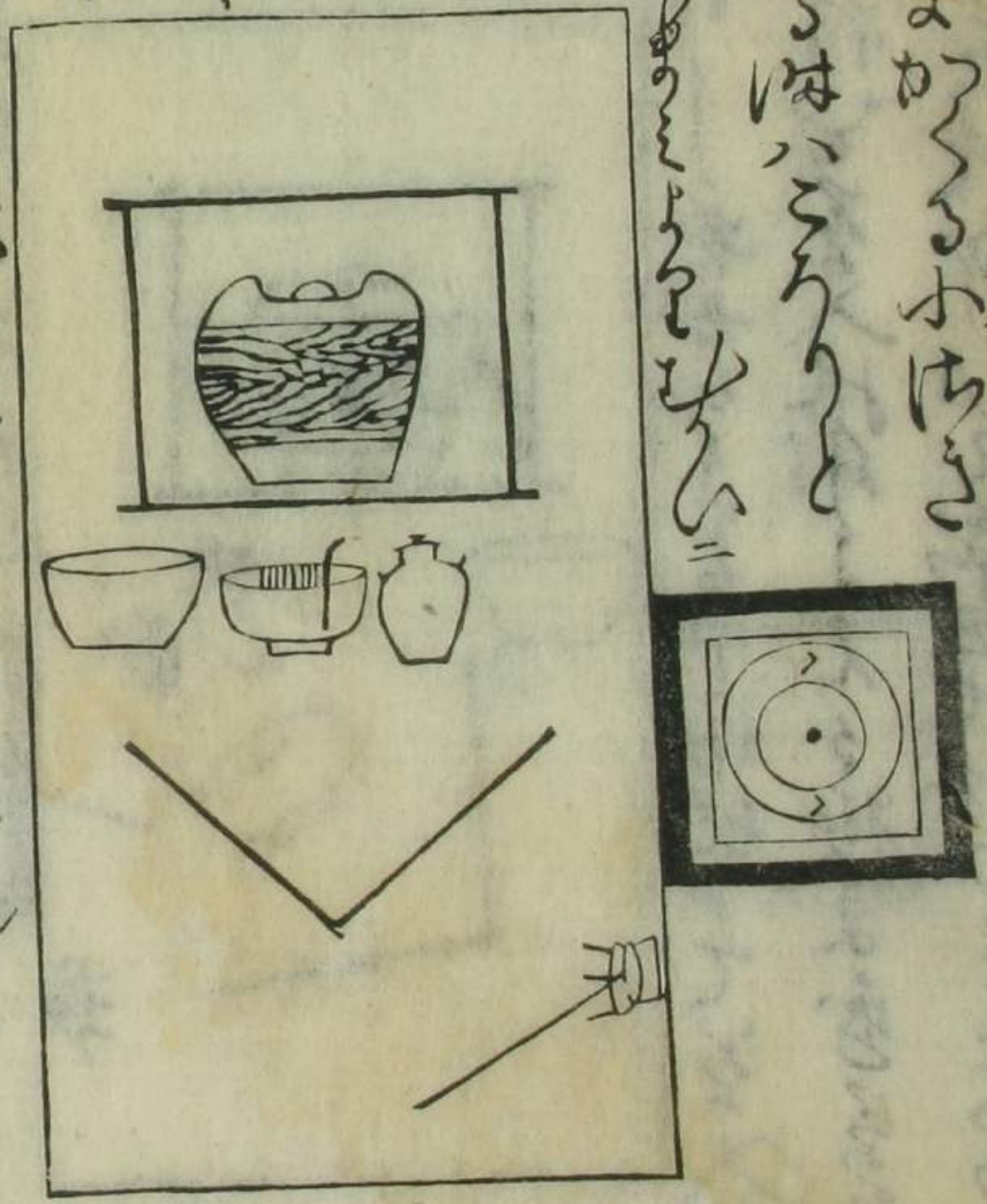
おつるを故し

ひきき茶碗

ひきき茶碗

ひきき茶碗

ひきき茶碗



約とらんむけのくべー右中へちせんららるる  
 おとへ別なきくち分厚く茶碗の糸を茶碗蓋拂ひ  
 丸べー糸はくよまを茶碗の中へ糸を蓋せよおと

茶碗の向いなる  
 右へ湯と一をいひてくちへけきへ一掃て

ぬくつき湯はを掃お掃るまじゆを止せ物ひひてま

中へ又茶中ゆくしをまじゆを掃てくちへけきへ一掃て

ぬくつき湯はを掃お掃るまじゆを止せ物ひひてま

ぬくつき湯はを掃お掃るまじゆを止せ物ひひてま

ぬくつき湯はを掃お掃るまじゆを止せ物ひひてま

ぬくつき湯はを掃お掃るまじゆを止せ物ひひてま

ぬくつき湯はを掃お掃るまじゆを止せ物ひひてま

ぬくつき湯はを掃お掃るまじゆを止せ物ひひてま

ぬくつき湯はを掃お掃るまじゆを止せ物ひひてま

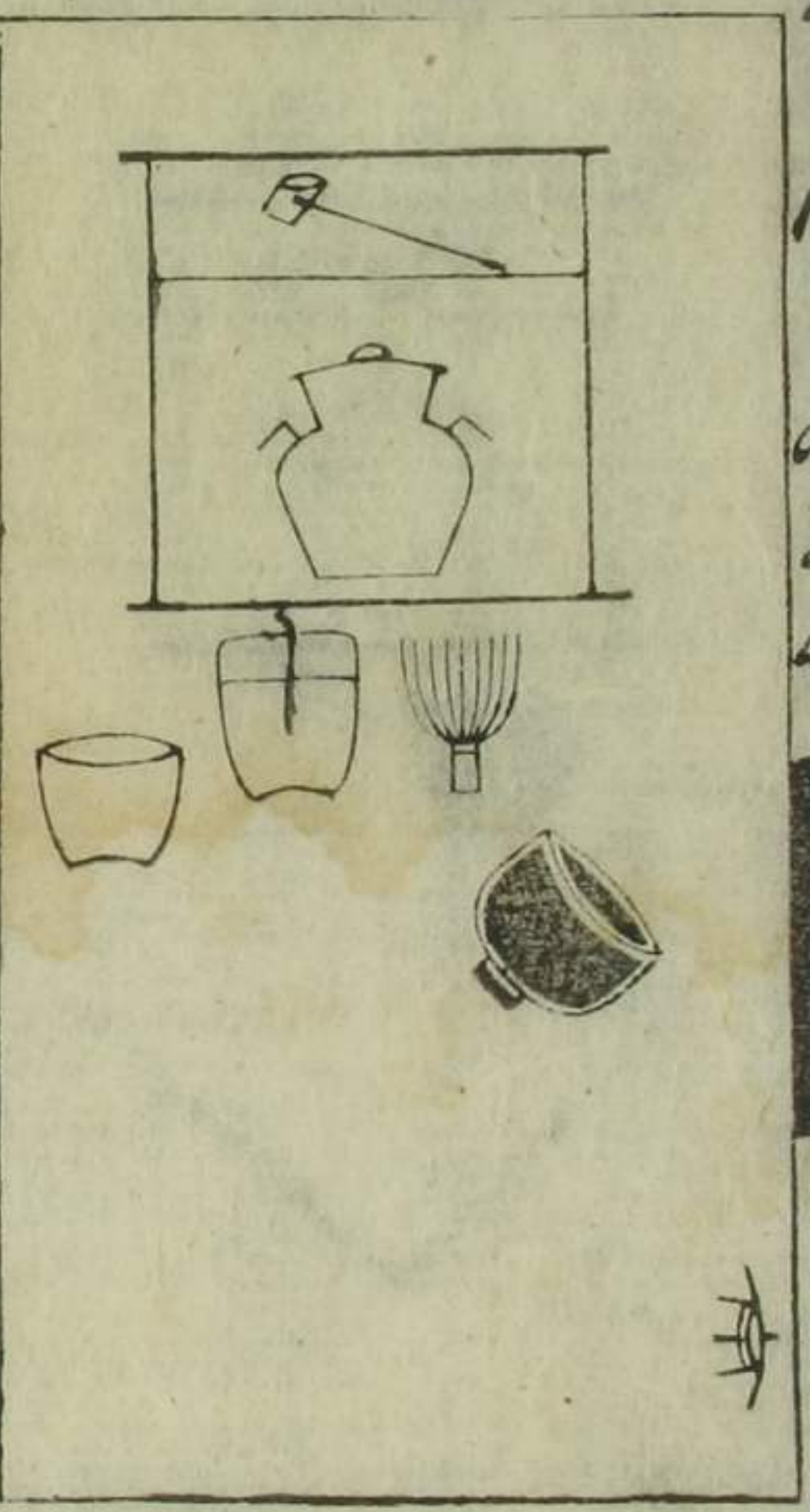






湯をくぐりまきかぎをどへつけ  
 火綴より八歩のきと加てどか  
 十歩有ればとらんをへおけ

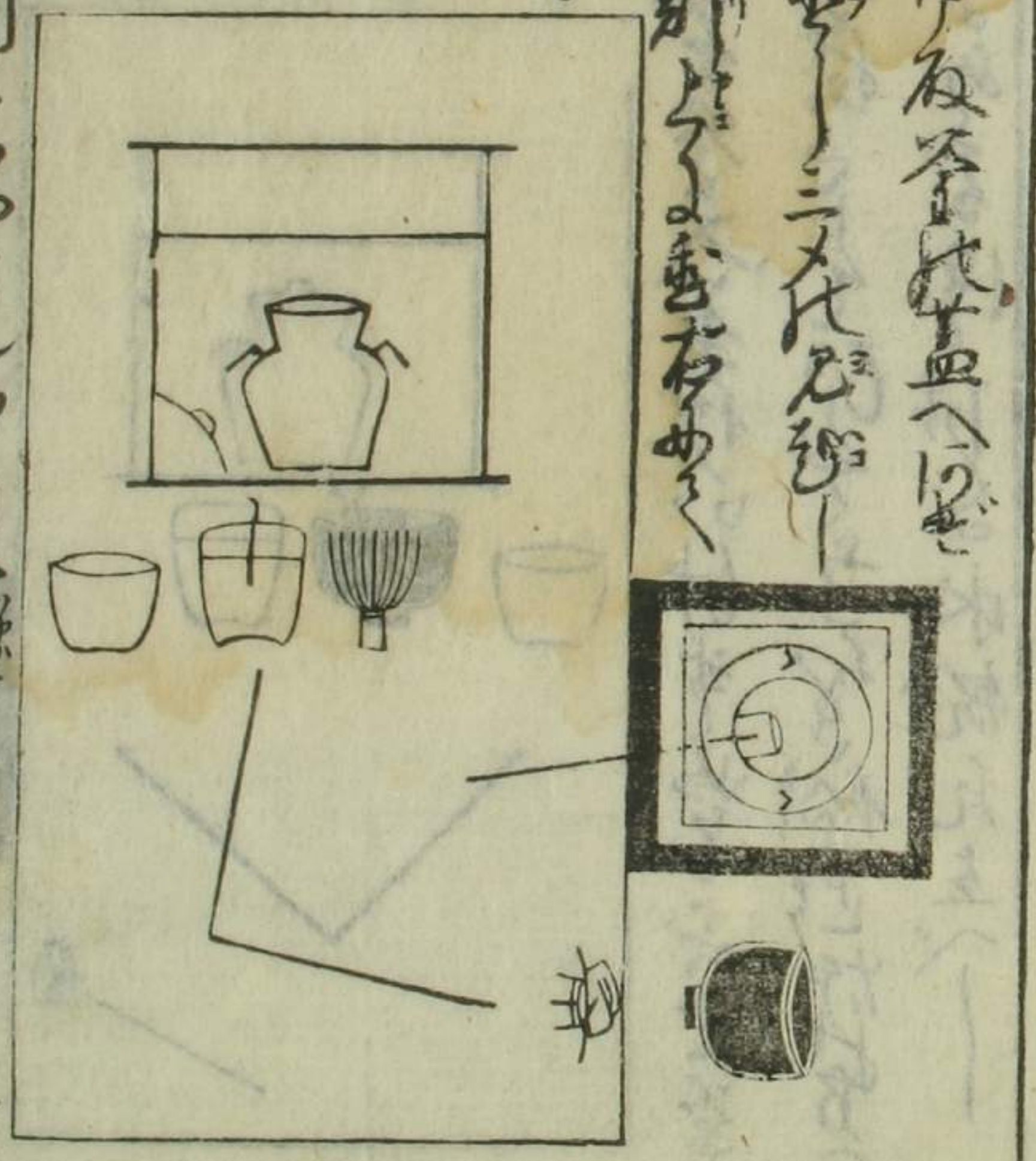
一又たれど  
 勢りゆらとて  
 有れりるへ  
 火とまると居候



いとて丸く茶碗取取後一茶巾取取  
 取巾いしよふぎを巾取一茶巾取取  
 あり蓋取取茶巾取取巾取取巾取取

入りたる茶巾取取此蓋へは  
 茶巾取取と紐と取取一此茶巾取取

茶此口取つよ割とくよ蓋有ぬ  
 物取と取取と  
 へ取取し湯と  
 へ茶巾取取入  
 ひやくひ茶巾



取湯次三して川とちやせんむは  
 んの湯取巾ひ茶巾とての蓋へと茶巾取取  
 どう入此とくして水取此蓋取取



煮下し気柄柄杓にさしひき

湯を出入せむの河上世茶茶取

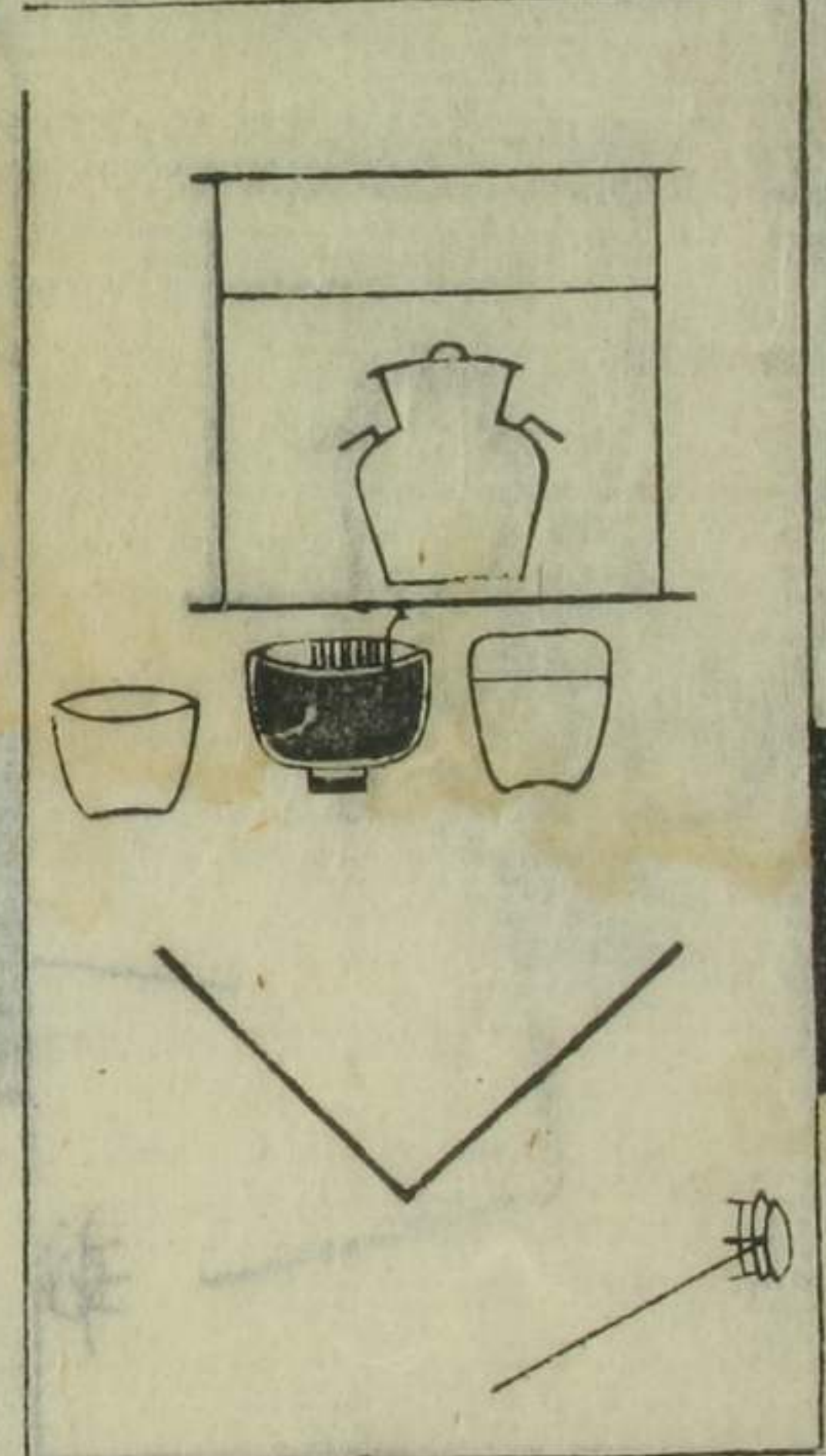
ゆきぬふも

糸敷しき

同一心之海ハ

湯をさそと

又茶茶す



と一ノ茶巾入茶茶入茶移のけきぬふさうせ茶統ぬふ  
 水水茶茶一茶茶茶一しひきささ茶柄杓(茶茶茶)向ひぬ  
 茶茶一七茶茶あるほと茶茶水茶茶立へ



